

## 5 用語解説

### あ行

用語	解説	頁
ICT	Information and Communication Technology (情報通信技術) の略。コンピュータで情報の生成・加工・保存などを行ったり、離れたコンピュータ同士で情報のやりとりをしたりするための技術	11 56 61
アナフィラキシー	皮膚・呼吸器・消化器・循環器・神経など、複数の臓器に現れる全身性かつ重度なアレルギー反応のこと。原因となる物質の摂取、皮膚への接触などにより引き起こされる。	58
委託弁護士	教育委員会が法律相談業務を委託した弁護士のこと。市立学校長等から学校に関わる法律問題やその対応について相談を受け、必要な指導助言を行う。	69
医療的ケア児	日常生活および社会生活を営むために恒常的に医療的ケアを受けることが不可欠である児童のこと。	32
浦賀レンガドック	正式名称は「旧浦賀船渠株式会社第一船渠」。明治 32 年 (1957 年) に竣工した希少な煉瓦造のドック。日本の近代の重工業に民間資本が参入し発展した姿を示す近代化遺産	44
ALT	Assistant Language Teacher (外国語指導助手) の略。児童生徒が英語で積極的にコミュニケーションをとり、外国の文化や習慣、考え方などを学んだりするための指導助手のこと。	11
SDGs	「Sustainable Development Goals」の略。2015 年の国連サミットにおいて全会一致で採択され、先進国を含む国際社会全体の開発目標として 2030 年を期限とする包括的な目標が設定されている。SDGs の達成に向けては、政府が定めた「持続可能な開発目標 (SDGs) 実施方針」(2016 年 12 月) において地方自治体の各種計画に SDGs の要素を最大限反映することが奨励されている。	70
FLT	本市独自の名称で、Foreign Language Teacher (外国人英語教員) の略。ALT と異なり、指導助手ではなく英語教員として英語指導の資格を有し、単独による授業や評価を行うことができる。	11
OJT	On the Job Training の略。学校内で実務を通して行う人材育成のこと。	65

## か行

用語	解説	頁
介助員	学校で教育活動に支障を来す事態が生じたときに配置する「特別支援学級介助員」、指導協力者としての位置付けである「教育支援臨時介助員」「泊を伴う学校行事の介助員」のこと。主に児童生徒の身辺処理の介助、校内・校外活動の介助、危険防止のための安全確保などを校長の指揮監督のもとに行う。	31
学習支援員	個別の学習指導や少人数での補習などを行う教員免許を有する会計年度任用職員のこと。	10
学習指導要領	どの地域で教育を受けても一定の水準の教育を受けられるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準。それぞれの教科等の大まかな教育内容を定めている。	4 9 15 21 61
学校運営協議会	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 47 条の 5 に基づく機関。地域、保護者、有識者等が参画し、学校と目標を共有して学校運営や必要な支援に関し協議する。平成 29 年（2017 年）から設置が努力義務化され、全国で設置が進んでいる。	62
学校司書	学校図書館の環境整備や日常的な運営、学校図書館を活用した授業や児童生徒の読書活動の支援等を主な業務とした教員免許や司書資格を有する会計年度任用職員のこと。	12
学校スーパーバイザー	臨床心理に関する専門的な知識を持ち、小中学校の相談員・スクールカウンセラー・教育相談心理士等への助言や指導を行う。学校に対して、心理的な視点から支援のアドバイスや重篤な事件事故が起きた際の緊急支援を行う。	27 34
学校生活適応支援員	日本語が全く分からない状況にある外国につながるのある児童生徒に対し、対象児童生徒の母語を使って学校生活への適応支援を行う。	37
学校評価	学校教育法に基づき、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取り組み。自己評価、学校関係者評価、第三者評価の三種類がある。	62
カリキュラム	学校教育の目的や目標を達成するために、児童生徒の心身の発達の段階や特性、地域の実態等を考慮して、各学校において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立て編成したもの。教育課程ともいう。	14
カリキュラムセンサー	学校の教育目標を達成するために編成した計画に基づいた教育実践を収集・発信する場のこと。	67
合唱と管弦楽のための組曲『横須賀』	本市が「文化の元年」を宣言した市制 75 周年に当たる昭和 57 年（1982 年）に、作詞を児童劇作家であり詩人としても高名であった故栗原一登氏が、作曲を本市市民で世界的な作曲家であった故團伊玖磨氏が担当して制作した。郷土横須賀の現在、過去、輝かしい未来を雄大に歌い上げる壮大なスケールの組曲	12

G I G A スクール構想	多様な子どもを誰一人取り残すことなく、子ども一人一人に公正に個別最適化された学びの実現のため、令和元年（2019年）12月に国が提唱した構想。具体的には1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、子どもの資質・能力が確実に育成できる教育ICT環境を実現することなどが盛り込まれている。	61
技術指導者（部活動技術指導者）	学校長および部の顧問教諭等の指示に従い、顧問の協力者として主に部活動の技術指導に従事する指導者のこと。	12 16 20
キャリア教育	児童生徒が、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するために必要となる、様々な汎用的能力を育てるために行われる教育のことで、単なる職業体験とは異なる。	15 63
キャリア・パスポート	小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる活動について、その過程や成果を後に振り返ることができるよう、児童生徒自身が作成した記録を蓄積し、ファイリングした教材のこと。	63
教育課程研究会	学習指導要領で示された教科等の内容や指導方法について、全ての教員が参加して実践的に研究する本市教育委員会主催の研究会。主に、6月は授業提案、8月は文書提案を行っている。	10 11 15
教員育成指標	教員の経験年数に応じて身に付けるべき資質能力を明確にした指標のこと。	66
共生社会	これまで必ずしも十分に社会参加できるような環境になかった方々が、積極的に参加・貢献していくことができ、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会のこと。	5 30 32
近代化遺産	幕末から第二次世界大戦期までの間に建設され、日本の近代化に貢献した産業・交通・土木に係る建造物のこと。	44
研究会	教職員による任意の研究組織のこと。授業づくりや教材研究などについての研究に取り組み、研究発表会や研究紀要の作成により、その成果を還元している。	11 67
校務支援システム	児童生徒の学籍管理・出欠席の記録・成績処理などの学校業務を効率化させるためのコンピュータシステムのこと。	61 69
国際教育コーディネーター	外国につながるのある児童生徒の言語環境や習得状況を把握し、必要な支援のコーディネートや学校の支援体制に対し助言を行う。	37
国際コミュニケーション能力	語学（英語）への関心や習得を通して、さまざまな場面において積極的に英語でコミュニケーションをとり、価値観・文化の違う人との関わり的重要性を認識し、幅広い視野で物事を捉えることができる能力のこと。	11

## さ行

用語	解説	頁
史跡東京湾要塞跡	明治時代に建設された猿島砲台跡と千代ヶ崎砲台跡の2遺跡で構成される本市所在の国史跡。建設当初の姿を良好に残し、日本の近代の軍事、築城技術の変遷を体感することができる。	44
支援教育	全ての子どもを対象とし、一人一人の教育的ニーズに応じて多様な学びを実現し、誰もが安心して学ぶことができるようにすることで、共生社会の担い手を育むことを目指す取り組みのこと。	30 32 37
支援教育コーディネーター	学校内の関係者や外部の関係機関との連絡調整、保護者に対する相談窓口、担任への支援、校内委員会の運営・推進の役目を担う教員のこと。	31
支援教育ステーション	家庭・学校・関係諸機関との連携を強化し、多様な教育的ニーズに応じた支援の一層の充実に向け、外国につながる子どもや保護者の相談・支援、スクールソーシャルワーカーによるアウトリーチ型支援などの拠点として、市立諏訪幼稚園跡地に設置する施設	31 37
指導主事	都道府県および市町村の教育委員会に置かれる専門的職員のこと。教職員に対して専門的な助言と指導を与えることを任務とする。	66
児童・生徒の問題行動等調査	県内の小中学校等に在籍する児童生徒の問題行動・不登校等の実態を把握・分析することにより、学校における児童生徒指導上の取り組みのより一層の充実を図り、児童生徒の問題行動・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応につなげることを目的に神奈川県教育委員会が実施する調査	24 29
児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査	児童生徒の問題行動等について、全国の状況を調査・分析することにより、学校における生徒指導上の取り組みのより一層の充実を図るとともに、調査を通じて実態把握を行うことにより、児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応につなげることを目的に文部科学省が実施する調査	24 29
市民大学	市民の高度な学習への要求にこたえるため、主に生涯学習センターで開催する教養を高めたり、郷土の知識を深めたりする多様な講座のこと。相互学習が基本の公民館において、中学校卒業以上を対象として高度な内容の成人学校を開始したが、その後、より高度な学習への要求が高まったため、市民大学を開始した。	38 40
社会教育委員	社会教育に関し、教育委員会に助言するために、社会教育に関する諸計画を立案したり、会議を開いて教育委員会の諮問に応じて意見を述べたりするほか、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べる。また、教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。合議制ではなく、独任制の機関である。	40 73 74

社会教育施設	社会教育の活動によって、人々の学習活動を支援する施設。本市では生涯学習センター・図書館・博物館・美術館がある。	39 40 41
小1プロブレム	小学校に入学したばかりの1年生が、集団行動が取れない、授業中に座ってられない、話を聞けないなどの状況が数カ月間継続する状態のこと。	14
小中一貫教育	通学区域を共にする小学校と中学校が、児童生徒や地域の実態をもとに、義務教育9年間を通じた学びの系統性・連続性を重視し、目指す子どもの姿や共通の教育方針を設定した上で教育課程を工夫し、協働して行う教育のこと。	14 59
情報活用能力	世の中のさまざまな事象を情報とその結び付きとして捉えて把握し、情報および情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力（情報モラル、情報セキュリティを含む）	11 61
情報モラル	情報を扱う上で、必要な考え方や態度のこと。	61
食育	さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てること。生きる上での基本であって、知育、徳育および体育の基礎となるべきもの。	21 23
スクールカウンセラー	臨床心理の知識および経験を備えた専門職のこと。児童生徒・保護者・教職員に対して、カウンセリングやアセスメント、コンサルテーション等を行う。	27 34
スクールソーシャルワーカー	社会福祉に関する専門的な知識を持ち、関係機関等とのネットワークの構築など、多様な支援方法を用いて課題解決を図る専門職のこと。	27 31 34 37
全国学力・学習状況調査	全国の児童（小学校6年生）・生徒（中学校3年生）の学力・学習状況を把握するための調査。調査結果を国の教育施策の策定や学校における指導の充実などに役立てることがねらい。	7 8 9 10 56
全国体力・運動能力、運動習慣等調査	スポーツ庁が毎年実施している全国の児童（小学校5年生）・生徒（中学校2年生）を対象とした悉皆調査。国の体力向上に係る施策の成果と課題を検証することや各学校における体力・健康等に関する指導の改善などに役立てることがねらい。	17 18 19 21 22
相談教室	不登校児童生徒が、社会的自立に向けて歩み出せるよう支援するために、在籍のある学校とは別に教育委員会が設置した教育支援センター（適応指導教室）のこと。個々の状態に応じた支援を行い、自己肯定感を育み、他者との信頼関係を築き、社会参加への意欲を高めていくことを目指す。	27 34 35

## た行

用語	解説	頁
登校支援相談員	いじめや不登校等の課題の未然防止や、早期発見、早期対応を行うために、配置する。登校はできるものの、教室に入ることのできない生徒に対し、相談室等に対応したり、不登校生徒宅に担任とともに家庭訪問をしたりしながら、校内の居場所づくりや人間関係を広げる手助けをする。	27 34
特別支援学級	学校教育法第 81 条に基づき、障害による学習上または生活上の困難を克服するために設置された学級のこと。知的障害者・肢体不自由者・身体虚弱者・弱視者・難聴者、その他障害のある者で、特別支援学級において教育を行うことが適当な者が対象となる。	30 31
電子書籍	従来の紙とインクを利用した印刷物ではなく、文字や図画等をデジタル化し、パソコンや携帯電話等で読める形にしたもの。インターネットなどを通じての配信・閲覧が可能。	48

## な行

用語	解説	頁
日本語指導員	外国につながるのある児童生徒に、日本語の初歩的な読み書きや話し方の指導、生活適応や家庭との連絡支援などを行う。	37

## は行

用語	解説	頁
P D C A サイクル	Plan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Act (改善) の4つの段階を繰り返し行うことによって、業務を継続的に改善すること。	70
1人1台端末	G I G A スクール構想に基づき整備した児童生徒が学習に使用する P C 端末	11 61
部活動指導員	学校長の監督のもと、担当教員と連携・協力し、部活動の顧問として技術的な指導に従事するほか、学校外での活動(大会・練習試合等)の引率、部活動の管理運営、保護者への連絡、生徒指導に係る対応等、部活動指導において必要と認められる業務を行う会計年度任用職員のこと。	20
(部活動) 技術指導者	学校長および部の顧問教諭等の指示に従い、顧問の協力者として主に部活動の技術指導に従事する指導者のこと。	12 16 20
ブックスタートブック	乳児健康診査時に赤ちゃんと保護者に配布するもので、絵本2冊・赤ちゃんといっしょに読む本(ブックリスト)・イラストアドバイス集(読み聞かせ説明)・図書館利用案内・貸出利用申込書(図書館カード発行申込書)等をセットにしたもの。	48

不登校	何らかの心理的・情緒的・身体的あるいは社会的要因や背景によって、登校しないあるいはしたくともできない状況にあること。	24 27 28 33 34 35
フリースクール	民間の運営による不登校児童生徒に学習機会や居場所を提供している機関	35
ふれあい相談員	いじめや不登校等の課題の未然防止や早期発見、早期対応を行うために、児童との日常的、情緒的な関わりや相談等を通じて児童の心を支え、安心して学校生活が過ごせるよう支援する。	27 34
フロンティア研究校	本市における教育課題に対し、先進的に課題解決を図り、子どもたちの豊かな学びと学力の保障のため、実践的な教育研究に取り組んでいる学校園のこと。教育課題に研究主題を定め、計画的・継続的に研究を進め、具体的な実践事例をまとめたり発表したりして、全市にその成果を発信する。	11
ポケット学芸員	学芸員が展示物に付した解説文やナレーションをスマートフォンで楽しむことができる無料のアプリ。展示物に付されている番号を入力すると、展示物の解説や画像などの情報が表示される。音声や動画がある場合は再生することができる。	55

## ま行

用語	解説	頁
埋蔵文化財	土地に埋蔵されている文化財（主に遺跡や遺物、古墳・城跡等も含む）のこと。	45
民俗芸能	一つの地域社会の中で、そこに住む人々が住民自らの手で伝承してきた演劇・舞踊・音楽などのこと。人々の生活に関わってきたため、その地域の特性・個性が反映されやすい。	45 46
メンタルヘルスチェック	ストレスに関する質問票に回答し、それを集計・分析することで、自分のストレスがどのような状態にあるのか調べる簡単な検査	69

## や行

用語	解説	頁
YOKOSUKA English World	市立小学校の児童が、学校外においてネイティブスピーカー（市内の外国の子どもたち・ALT・FLT）とさまざまな交流活動を通して、コミュニケーション能力の素地を養う英語イベント（市立小学校5・6年生対象）	11
よこすか教育ネットワーク	校務支援システムや学校ホームページ等を活用するための各種サーバ、ネットワーク機器と市内の78の公的教育機関をつなぐ100メガ光ファイバーで構成するネットワーク	61

よこすか教師塾	横須賀市立学校の教員になることを目指す人が、本市が目指す教師像、教育理念、実践的指導力を学ぶことを目的とした、教育研究所が行っている講座のこと。	66
横須賀市学習状況調査	市立小中学校の児童（小学校2・3・4・5年生）・生徒（中学校1・2年生）の学習状況を把握するための調査のこと。調査結果を市としての必要な施策の策定、各学校における指導の工夫改善などに生かしている。	7 8 10
Yokosuka まなび情報	市民に自分の持つ知識や技術を教えたいと考える講師や学習する仲間を増やし、さらなる活動の展開、学習成果の発表、学習成果を地域に生かす活動の情報を広く知ってほしいと考えるサークルの情報	38 42

## ら行

用語	解説	頁
理科センター	施設設備の共同利用により、理科教育に関する指導力の充実を図り、科学教育の振興に資することを目的とする場のこと。本市においては、教育研究所内の理科実験室を利用して、教員の研修、授業実践に関わる教材・資料の作成配布、施設設備の共同利用、その他理科教育の振興に関することを行っている。	67
レファレンス	必要な資料や情報を必要な人に、的確に案内すること。	43 47 48